

にも不拘従業員に對し永久の岡山山本の家族の如くよその三年以上の勤続者には二株以上の株券を與へるをもて安の賃銀を以て聽使されども株券たる甘き約束を夢見て今日まで働きたり勤めたりでありませう然るに其の約束より履行せず突然従業員に對しておだめも大根のみツバの如くに首を切つた其れも事業不振に由るる解雇種々なき誠首に吾々は斷叫する

信念の元此の無法極まるる解雇に反對し吾等同志を復職せしむる迄戦ひ者がある  
 會議となるより早く山本工場主は平故と遂に吾等を苦しめ官憲を頼はし玉迫し同志を苦難の身に入れば人は如何にもよつとよふ不良見みらし工場内に籠詰となつてゐる職工に對しては毎日苦辛煙草を喫へ煙草機關を設け酒肉内務を以て獲得し土曜の夜は自動車を買つて大坂三河川まで遊樂をしめ後寺の龍堂を本然に防めんと狂言をこれに用する穴をたると其の額は實に甚大なるものである斯くまでして吾等を苦しめ自己の行を取らず吾々の如き真に忠實に従業員を失ふ事も漏中に陥入れんとす賢明なる所氏諸君の御批判を乞ふ

日本労働組合總聯合會岡山合同労働組合  
 山本イニキ等 謹啓 本部  
 大平町南三河川一八九七同朋街

5. 1. 22  
 1160

勞務第一一八四號  
 昭和五年四月十五日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達謙藏  
 社會局長 官  
 各廳 府 縣 長 官

警視總監 丸山 鶴吉

株式会社山本榮次郎商店東京工場労働會議ニ關する件（第八報）

要旨 労働對峙の特異な行動ナレ  
 標記工場ノ爭議ニ就テ八屢報ノ次其ノ後ノ經過左記ノ通ニ有之  
 一 經 過  
 (一) 勞 働 者